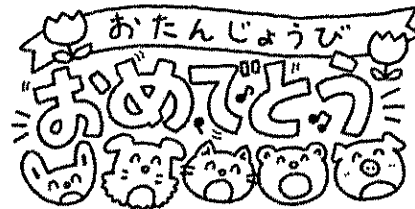


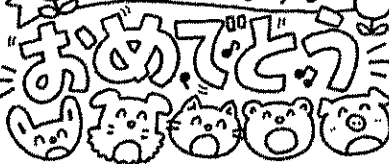
# すぎのこつうしん

平成27年 4月号  
古川東町カトリック保育園

4月生まれのおともだち♡



おたんじょうび



入園・進級おめでとうございます。

いよいよ新年度が始まります。

進級する子ども達は卒園式が終わった翌日から引っ越しを始めています。部屋には少しずつ慣れてきているかなと思います。しかし4月1日からは別の担任になります。いつも見ている保育士とはいえ、信頼関係を築くには少々時間がかかるかもしれません。

新しく入園する子ども達は何もかも、初めてのことはばかりで不安でいっぱいだと思います。

保護者の皆様と職員と共にその不安を一日も早く期待と喜びにかえ、笑顔で生活できるよう努めていけたらと思います。

カトリック保育園の4つの心「あいさつ、ありがとう、あやまりあう、あたえあう」はカトリックだからというだけでなく、人として大事にしていかなければいけないことです。

子どもにだけ身に付けるように言ってもできるものではありません。私たち大人が見本となり日常生活の中で自然に伝えていくことが大切だと思います。

短期間で身に付くものではなく、一生をかけて身に付けていくものではないかと思います。

心豊かで生き生きと生きる人を神様は喜ばれると言われます。神様だけでなく私たち職員もそして親御さんも子ども達が生き生きと生活することは、このうえなく嬉しいことだと思います。生き生きと生活する子ども達になるよう育てていきましょう!

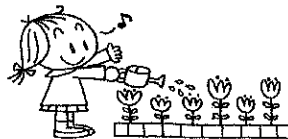
私たち大人も生き生きと生きていきましょう!

<園長 平野 義子 記>



聖歌 『マリアさまの心』

- 1、マリアさまのころ それはあおぞら わたしたちをつつむ ひろいあおぞら
- 2、マリアさまのころ それはかしのき わたしたちをまもる つよいかしのき
- 3、マリアさまのころ それはうぐいす わたしたちとうたう もりのうぐいす
- 4、マリアさまのころ それはやまゆり わたしたちもほしい しろいやまゆり
- 5、マリアさまのころ それはサファイア わたしたちをかざる ひかるサファイア



う た 『おはながわらった』

おはなが わらった おはなが わらった  
おはなが わらった おはなが わらった  
みんなわらった いちどにわらった

## 4月の行事予定

- 1日(水) 第46回入園式
- 2日(木) ~新入園児家庭訪問  
" 静修の日(こねこ組~)
- 8日(水) 内科健診
- 10日(金) 歯科検診
- 24日(金) 誕生会
- 7日 遊樂場開

※内科健診、歯科検診はなるべく  
欠席せず受けていただけるよう  
ご協力下さい。

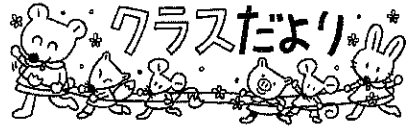


### おねがい



全ての持ち物に名前を書いて下さい!





☆ばんび組(0歳児)☆

<ねらい>

- 家庭的雰囲気の中で生活リズムを大切にしながら安心して過ごせるようにする。
- 身近な自然や人、物に触れて遊ぶ。

<家庭連携>

- ・新しい環境の変化で不安定になることが予想されます。十分な休息とスキンシップを多くとりましょう。
- ・春の陽気の心地良さを感じられるよう、暖かい日は外気に触れる機会をつくりましょう。

☆ひよこ組(1歳児)☆

<ねらい>

- 温かな雰囲気の中で、新しい環境に慣れる。
- 春の自然を感じながら、好きな遊びを楽しむ。

<家庭連携>

- ・体調が優れない時は、登園時に必ず伝えて下さい。
- ・着替え(スタイ、靴下)おむつ等、全ての持ち物に名前を記入して下さい。

☆ことり組(2歳児)☆

<ねらい>

- 新しい環境に慣れ、安心して生活する。
- 春の自然に触れ、戸外で伸び伸び遊ぶ。

<家庭連携>

- ・子どもが安心して生活出来るように、園や家庭での様子を密に連絡し合ひましょう。
- ・家庭でも外遊びの機会を作り草花や虫に触れたり、子どもと一緒に体を動かしてたくさん遊びましょう。

☆こねこ(3歳児)☆

<ねらい>

- 家庭的な環境の中で進級した喜びと期待を持ち、生活する。
- 新しい生活に慣れる。

<家庭連携>

- ・進級した喜びに共感しながら不安な気持ちを受け止めてあげましょう。
- ・午前のおやつがなくなり、お散歩に行く機会が多くなります。しっかり朝食を摂ってきて下さい。また、家庭でゆっくりと休み、疲れをとるようにしましょう。

☆うさぎ組(4歳児)☆

<ねらい>

- 進級した喜びと自覚を持ち、家庭的雰囲気の中で生活する。
- 新しい生活の仕方がわかり自分で出来ることをしようとする。

<家庭連携>

- ・不安や喜びを受け止め、安心して生活できる雰囲気を作り進級したという自覚が持てるように声を掛けましょう。
- ・自分で出来ることを褒め、自信を持って生活できるように知らせていきましょう。

☆ひつじ組(5歳児)☆

<ねらい>

- 家庭的雰囲気の中で、友だちと進級した喜びを分かち合う。
- 春の自然に興味を持ち、観察したり遊びに取り入れる。

<家庭連携>

- ・進級した喜びを共に分かち合うことで、様々なことに意欲が持てるようにしましょう。
- ・春の自然に触れ、観察したり遊びに取り入れる楽しさを知らせていきましょう。



- 新年度が始まり、新しい環境に慣れるまで食べやすい給食を提供します。
- 環境の変化や季節の変わり目で体調を崩しやすいので、ご家庭でも気をつけて下さい。



入園、ご進級おめでとうございます!

新しい1年が始まりますね。日々、暖かくなり春の訪れを感じると、それだけでウキウキしますね! 新しく入園されたお子さん、そして保護者の皆さんは、カトリック保育園とはどんな所なんだろう? どんな保育士がいるのだろう?どんなお友だちがいるのだろう・・・など期待と不安でいっぱいのことと思います。進級した子ども達と保護者の方々も一つ上のクラスになり、どんなことが始まるのか、どんな成長を見せてくれるのかなど様々な思いを抱えている所ではないでしょうか。新しく入園した子ども達にとっては、知らない場所、知らない人・・・それだけで不安になってしまいますね。お父さんやお母さんも後ろ髪をひかれながら仕事へ行くことになるかもしれません。不安を直ぐに解消することは出来ませんが、その気持ちに寄り添いながら保育園が楽しい場所だと分かってもらえるように沢山抱っこしたり、好きな遊びを一緒に楽しんでいこうと思っています。進級した子ども達も、今までと違うクラスや生活に戸惑いを感じることもあるかもしれません。食事の時、寝る前などにゆっくりとお子さんの話に耳を傾け、励ましてあげて下さい。お父さんやお母さんの言葉は大きな大きなパワーになることでしょう!!

さて、私も今年新しいことが始まる年となりました。'主任' という大きな役目をいただき、期待と不安と不安と不安でいっぱいです・・・。

新年度のスタートです!よろしくお願ひ致します!!

(主任保育士:菅原理以)





## あなたの1分間拝借!

御入園、御進級を心からお祝い申し上げます!

「家庭は、豊かな人間形成の学校の一つである。」と第二ヴァチカン公会議の現代世界憲章第52条に記されています。女性の社会的進出により家庭内における尊厳と使命に対する配慮が怠りがちになり、乳幼児の心育、情操教育、人間形成の基本が破壊されている現実を直視する時、保育所のなすべき使命は重且つ大であることを見直し、乳幼児にとって保育所があなたがい家庭の延長線上にあるよう特恵すべき責務が求められていることに目覚め、心して各自の任務をしっかりと果たしてくれるよう祈念してやまないところです。従って当保育園では、人間形成の基本的習慣として次の4つのところ即ち、あいさつ、ありがとう、あやまりあう、あたえ合う4つの心の実践に心を尽くし合いながら、日々好日の恵みで満たされるよう努力していただきたいと思います。

この4つの心の実行が家庭でも、保育園でも心を入れて行われれば、そこには必ず「和」が生じます。身内から地域へ、更に「世界」へ広がる「輪」になって、それが親から子へ、子から孫へと繋がる命の「環」に深化して、人間社会におけるまことの安全保障の場が創造されることと信じます。これこそ乳幼児たちの安全な安らぎの場以外の何ものでもありません。まさに育児にかかわるすべての人々の道徳的且つ経済的責任が伴うお仕事であることに心耳を傾け、今まで以上に保育そして教育に対して目配り、気配り、心配りをされるよう精進してほしいものですね。まさに4つのところは家庭的人間味のある温かい世界を現し合える力を備えていると思います。

4月のテーマ、それは4つのところで温かい家庭的保育を目指し、乳幼児と共に人間性教育に力を尽くしましょう!です。

児童憲章には、児童の保育のために3つのテーマを掲示しています。その一つは児童の人格権を認めること、二つ目は社会性を高めること、そして三つ目は良い環境をつくることと示されています。特にそれらのうちの三番目が保育を左右することに気付く人は何人いるか問題ではと思う御心の一人です。世は環境といえは設備、建物、備品等のみを重視する傾向甚だしく、保育にかかわる人的環境即人材には、あまり重きをおかないことに心の目を向け考え直してほしいと思います。かかる意味合いから四番目に宗教性そして五番目に倫理性をあげてしかるべきことではないでしょうかと思う次第です。

4つの心の実践は、まさに人が人として互いに尊重し合うように子ども達を育成するために基本的に必要なテーマであると信じます。また宗教が冠婚葬祭やお祭りごと等に捉えられている世情や生活上から倫理性が締め出され、物質文明の豊かさ、機器文明の乱用による家庭のみならず政・官・財の秩序の乱れはいかかなものかと案じている一人です。すべてはあるべきものの目的を無視した結果ではないかと思えます。それは何のために存在するかを考え、目的に沿って使用することです。故ローマ教皇ヨハネ・パウロ二世が来日され日後楽園(東京ドーム)で全国から集まったキリスト者たちに日本語で次のように説教されたことを思い出します。

人は、優先順位を間違っていないけません。21世紀は、物より心を、物質文明より精神文明を、精神文明より愛の文明を優先しなければなりません。(ここで愛とは、人格的に大切にしようという意味で使われています)

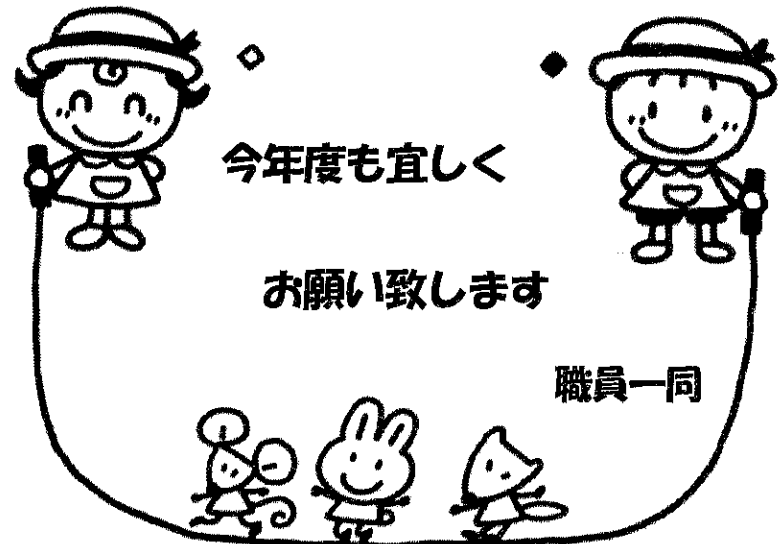
子ども達が、天地の創造者であり、全人類の父である神の御心に叶う大人に成長していくように、保育者自ら家庭的温かさを持って4つのところで保育に専念いたしましょう。家庭が保育のプリマ・スコラであることを忘れずに!

カトリック古川教会  
司祭 川井 啓



## お知らせ

※育休中だった伊藤順子保育士が24日より復帰します。宜しくお願ひ致します。



職員一同